

FM NACK5 高校生スポーツ研修プログラム

慶應義塾志木高等学校 前田 大輔

1、はじめに

私はこの夏、「FM NACK5 高校生スポーツ研修プログラム」に参加いたしました。埼玉県と姉妹提携を結ぶオーストラリア・クイーンズランド州を訪れ、様々なスポーツトレーニングを通じて運動能力を高め、また現地の州立高校生との国際交流を行いました。

簡単ではありますが、以下に研修の内容を報告いたします。

2、スポーツトレーニング研修 ～スポーツを愛するオーストラリアの人々～

私たちが滞在したゴールドコーストは温暖な気候に恵まれ、一年中スポーツを楽しむことができる世界的に有名な観光地として知られています。

全長57kmも続く砂浜では毎年サーフィンの世界選手権が開催され、マリンスポーツが楽しめるブロードウォーターパークやスポーツスーパーセンターなどのスポーツ研修施設も充実しています。

滞在先ではスポーツ専門のインストラクターの指導のもと、陸上や筋トレ、水泳、ホッケー、バスケットボールなど様々なスポーツを体験しました。

体験したスポーツはすべてが新鮮で、特に最近人気のマリンスポーツ “スタンドアップパドル”(パドルを漕ぎながらサーフボードで波乗りをする) が一番印象に残りました。

オーストラリアでは老若男女問わず多くの人々がスポーツを楽しんでおり、またそれを支える施設や人材が大変充実していることが分かりました。



3、パシフィックパインズ州立高校訪問

私たちは最終日に州立パシフィックパインズ高校を訪問しました。この学校では海外からの高校生との交流が積極的に行われております。また「日本語」の選択授業もあり、私たちはゲストとしてこの授業に参加させていただきました。授業では、日本のかるたを使ってひらがなを覚えたり、クイズを通して日本について学んだりしていました。

今回授業に参加させていただいて気付いたことは、クラスにはインドネシア人やアメリカ人など、国籍や肌の色も異なる生徒がおり、オーストラリアの多様性を感じました。当初、自分の英会話を心配していましたがそんなことは全く問題なく、すぐにクラスメートと打ち解けることができました。国際色豊かなこの学校では国籍の違いなど全く感じさせず、私のバディである Rhys やその仲間達は積極的に私に語りかけてくれました。そして今でもメールで彼らと話をしています。



4、終わりに

私は今回のスポーツ研修や州立高校訪問のプログラムを通して、オーストラリアの自然やおおらかさを体感し、また同世代の高校生と交流を深めることができました。今後はもっと語学力を身に付けて日本とオーストラリアの架け橋になりたいと思います。

2020年東京オリンピックではぜひ埼玉会場のボランティアとしてお手伝いしたいと思います。このプログラムで貴重な経験ができたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。

